

第4回 南あわじ市地域情報化計画検討委員会 議事要旨

日時 平成17年10月5日(水)午後1時30分～午後5時
会場 南あわじ市中央庁舎 別館会議室
出席者 委員：9名
高田委員、中尾委員、榎本委員、山崎委員、大川委員、西尾委員
的場委員、原島委員、若林委員
市側：総務部長、総務部次長、ケーブルネットワーク淡路所長、所長補佐
事務局：情報課長 以下4名
コンサルタント：CDCソリューションズ(株) 2名

会議の概要

1. 開会

2. 委員長あいさつ

要旨

市の計画についての提言ということをしっかり認識し、作業を進めていかなければなりません。提言をまとめるにあたっての細かな意見を提案いただき、よりよい提言ができるようにご協力をお願いします。

3. 協議

(1) スローガンの選定について

- ・ 32のスローガン案が提案され、人気投票も行いました。ハートフルネットワークに得票が集まったが、福祉分野等でも使用されていることが多い。
- ・ 既に使用されているスローガンは、良くはない。
- ・ 情報化の目的が入っているものがよいのではないかと、その考えで行くと「つながる」という言葉は良いのではないのでしょうか。
- ・ 先進地の提言書で使用されているもの、通信事業者のCMなどは避け、またユビキタス、IT というような言葉もすぐに時代遅れになる可能性があり、スローガン案の中でこれらの観点でチェックをかけていくと、
9 ふれあい共生、時をつなぐ「おのころ光の渦潮」
10 気持ち伝わる地域情報コミュニケーション！
14 今見て聞いて情報通
15 「市民5万5千人のマルチ情報」
新しい市に生きる5万5千人、一人一人にCATV 端末、光ネット、携帯電話など全ての情報メディアを駆使した情報ネットワークを構築する。
16 実りある情報化社会を目指して
17 情報でつながる広がる通じ合う
18 “情報化”って けっこう 楽しい！
19 情報化で 地域がわかる！ 世界もわかる！

- 25 世界へ広げよう、南あわじの輪！
- 26 世界へ情報発信！南あわじ
- 29 「南あわじ市情報ダイナミックス」 全ての情報メディアを駆使して協力的、エネルギッシュに IT 社会を構築する。
- 30 「南あわじ市情報パラダイス」の案が残る。

- ・ 分かりやすい表現、短い表現が良いと思う。
- ・ つながるという言葉は、情報化については必須の項目ではないか。
- ・ 投票も 3 票集まっているし、17 番が妥当では。
- ・ スローガンだけではこの委員会で話し会ったことをすべて包含できるものではなく、スローガン要旨の欄に細かく小項目として記載されているものがあり、30 番等は項目がうまくまとまっている。
- ・ 説明の必要のないスローガンも分かりやすく良いと思う。
- ・ そもそもスローガンに説明は必要なのか それぞれ読んだ人が頭に何か想像できるようにあれば説明がなくてもかまわない。
- ・ 内容とスローガンがかけ離れているわけでもないのに 17 番で構いません。
- ・ 要旨は 30 番を使用し、スローガンは 17 番でまとまるのであればそのようにしてはどうでしょうか。
- ・ スローガンは「情報でつながる広がる通じ合う」、要旨は 30 番『南あわじ市に夢をもたらす情報提供情報化による市の発展、市民の幸せを願う小項目スローガンとして、
 - 1、「市民を守る情報ネット」医療・防災・危機管理・福祉・健康
 - 2、「くらしに役立つ情報ネット」電子自治体、施設利用、講座情報、図書、イベント、市ホームページの等の充実
 - 3、「資源を生かす情報ネット」「食」地場産業、観光、商工業
 - 4、「市民参加型情報ネット」パソコン研修、地域密着型ホームページ、自主番組参加（さんさんネット）、情報センター、推進組織』
 を利用して選定することでよろしいですか 異議無し。

(2) 地域情報化計画に関する提言書について

- ・ 概略を事務局から説明

計画自体は市が作り、検討委員会は、計画策定に向けての提言書を作成するという姿勢で「現状と課題、施策の展開」を今まで話し合ってきた内容を中心として、まとめていくことの説明。
- ・ コンサルから提言書の案について、順次説明。
- ・ 委員会の 1 回目から議論してきた必要なことは、提言書に入れていたきたい、その過程や、研修を受け、提言まで至るストーリーを書き上げるのが良いのではないのでしょうか。
- ・ 市民アンケートの量が多すぎて提言部分が少ない。
- ・ 用語集はページ下に入っているの見やすい。

- ・ アンケートでグラフがあって見やすいが、重複するものがある。
- ・ アンケート中、インターネット利用回線の中に、光ファイバやみどりネットが入っていないが？（事務局）アンケートでは、主な選択肢のみ入れているため。（委員）行政で運営しているのだし、入れたほうが良いと思う。
- ・ 携帯電話所持者の内、防災ネットに登録している人の比率が低いので携帯の有効利用の観点からも（提言で）強調して欲しい。
- ・ インターネットの利用回線の速度が遅ければ、光ファイバと比較すると、経済的に年間 130 万円程度の経済的損失があるとも言われている。そのことも加えて欲しい。
- ・ みどりネットの記述では、委員会としては、十分に説明をして、みどりネット加入者の理解と協力を得ながら、IT 時代の高度な情報提供の推進に努めることが必要。
- ・ みどりネットアンケート結果も提言書に添付する方がよい。

事務局からみどりネットアンケートについて説明

- ・ （廃止する際の）補償の点では、民間が加入キャンペーンを行っているので必要ないでしょう。
- ・ 市民に十分理解をいただいて、なおかつ、より高度なネットワークを利用できるよう理解を求めていくことが必要。廃止するかしないかは市が決定すること。
- ・ 補償のことはアンケートには一切記載しておらず、補償するといえどもまた、アンケートの意見が変わってくる可能性がある。
- ・ 提言書の付属資料にアンケートを添付するかしないかであるが、委員会で公表しており、新聞記者も傍聴しており、ホームページにも掲載するので添付しても問題はない。
- ・ 補償の問題について市の方針は、現在決まってないのですね。決まっています。
- ・ 500K/bps のさんさんネットと 1.5M/bps のみどりネットの利用料金の差は、問題であり提言書に記載する必要がある。是正しなければならないことは、是正すべきである。明らかにしなければならないものはしていくべきである。
- ・ あくまでも住民サイドの理解協力を進め、アンケートを提言書に付属資料とする。

さんさんネットについて

- ・ 南あわじ市民として共通の情報を得ることに極めて有効に働いており、自主番組の有効利用まで掘り下げて、提言書を作成する。ここで南あわじ市の特色が出せて、他のケーブルテレビとの違いも記載すべき。

委員から関西空港電波障害対策に関する事項について質問（追加資料提示）

- ・ 関空の電波障害の関係で西淡三原の対策がなされていたが、一東化との

関係もあり、ケーブルでテレビを視聴している方に関して、どうしてもさんさんネットに加入いただけない方については、ケーブルの引き込みを行い、自主放送を見られないようにして偶数チャンネルだけ見てもらっている方がいます。資料は、未加入世帯が何件程度あるかについて、調べたものです。(組合の加入者数等は平成13年度)

- ・ CATV 基盤の現状と課題のなかに、市民コミュニティーを構成する上では、コミュニティ放送、告知放送を十分活用して、共通の情報を受けて市民として手をつなごうといった文言を入れる。
- ・ CATVの説明会時、CATVに加入しなければ、関空敷設のケーブル(共同アンテナ)を切ってしまうと聞いており、現実としてなくなったわけであるが、そのときの選択枠として先に述べたように(地上波の再送信)テレビだけは無料で視聴できるというものがあったはずである。(説明会で)回答を求めたが、自分でアンテナを設置してもらおうというような回答しかなかった。いつからそのような状況が生まれたのか不思議であり、そのような形で運営されているのであれば、その数値を明らかにしていただきたい。今後、緑地域等でも関空電波障害の対策で共聴アンテナで視聴されている箇所があり、そのような人たちに情報を公開しなければ、確かにCATVのコミュニティ放送や、告知放送の利点を薦めるのも大事であるが、選択枠として確かなことを伝えなくてはいけない。このような状況をはっきりとした形で、示していただきたい。
- ・ 委員会としての姿勢は、これらの状況を踏まえ、経緯を整理して、住民に明らかにしていくことが必要である旨を提言書に。
- ・ 西淡三原で行ったとおりの対策をこれからの拡張地域で行うとは限らず、確定していません。また、関空の対策は、アナログ放送に限って行っており、デジタル放送は原則対応しないという方針で行っています。2011年のアナログ放送が停波するときには、ケーブル線は切って、放送が見られないようになります。電波事情が変わるまでという契約で結んでいます。神戸空港が開港しても飛行ルートの関係から影響はないとみられ、もし、デジタル放送になって影響ができればそのときに対応すると関空は考慮するという見解です。
- ・ CATVに未加入だが、アナログ放送は見ているという世帯において、宅内の工事などしているが、そういった場合アナログが停波したときは新たに引込み工事費など発生するのか。新たに加入していただくか、切らせていただくかのどちらかになります。

追加資料の説明

- ・ 当初件数は関空の電波障害対策が始まったときの、組合員の戸数となっています。(資料一番上の志知テレビ共同受信組合の場合)13年9月にはケーブルテレビに加入しなかった件数が26件あり、現在までに26件中12件の加入がありました。現在でもケーブルテレビには加入せず、ケーブルテレビの引込み線を利用して地上波の再送信のみ視聴している件数が14件あるということを示しています。

- ・ 地上波の再送信しか見ないのであれば、無料でも視聴できたということを知らない人が多いのではないか。
- ・ もともと関空電波障害対策が行われていた地域に限る措置だそうだが、知らないうちに毎月 1500 円支払っている人がいるわけで、広報でそのことをきちんと伝え、1500 円の効果があるんだというようなサービスを提供していただきたい。
- ・ 自信をもってサービスを提供して、かつ十分にこれまでの情報が開示されていれば、なんら支障がないはずである。事なかれ主義のような表現で消えてしまっている。みんなでよりよいものにしていくために、厳しい内容でも積極的に開示する。それ以前の問題として、この委員会で発覚した問題は、積極的に情報開示しないと委員会の品位に関わるため開示して欲しい。
- ・ 委員会としては、細かな問題や料金よりも、これまでの経緯を住民に分かりやすく整理して説明する。併せて、今後の関空との対応も勘案しながら、情報システムがスムーズに機能するように等記述。
- ・ 地域情報化などと威勢を張っても、情報を開示しなければ、委員会で話したことはうそになり意味がないものになってしまう。
- ・ 13 ページに関空の問題への対応、デジタル化への対応も検討し、住民に分かりやすく公表してもらおう。
- ・ こういうような情報を隠すことはいけない。過去の話であっても、是正すべきところは是正していくべきで、情報を知りえなかった方に対してきちんと確認して説明していくべきで、さんさんネットの放送内容がどうのという問題ではない。
- ・ 資料でいうと 338 件の方は、2011 年にはテレビが見られなくなるので、きちんと説明することも必要である。
- ・ 平成 13 年では、県としても、完全なデジタル化がいつになるのかなどは把握できる状況ではなかった。
- ・ 電波障害対策に関する追加資料も提言書に添付する。
- ・ 結局、最初の説明段階では、選択肢としてケーブル引込みで地上波再送信が見られるというものがなかった。（市）それはそのとおりだと思う。（委員）最初と最後では説明の仕方が変わっており、最初から同じ説明をしてもらわないと公平性に欠ける。
- ・ 予備予約の有無に関わらず、大きな方向転換をするのであれば、その話を全ての住民に周知して、情報を公開すべきであった。そのため、今でもそのことを知らない住民が多い。今後にも影響するので、経過をきちんと説明する必要がある。
- ・ 今までの関空の問題にかかわっての状況は複雑な状況であったのは提言書に載せる必要があるが、デジタル化に伴う問題、関空の対応、その点を踏まえた、市の対応はどうすべきかを記述する。問題を整理して、十分に理解してもらって、これからの情報化を推進するように記述する。
- ・ 提言書とは別に、情報の公表は必要である。
- ・ いずれにしても、ケーブルテレビの線を利用して視聴しているので、現

状をきちんと把握すべきである。

(休憩)

- ・ (ケーブル引込線で地上波再送信が視聴できることの) 周知がなされていなかったことについては、お詫びをしたい。今回、地域情報化計画についての提言書をまとめていただいております。新市での情報化については、情報の格差を早期に是正するべきで、スローガンの言葉「情報でつながるひろがる通じ合う」を目的に、情報化を行うわけです。先ほどのご意見のようなことを、表に出すことよりも、現在、加入していない方にも加入促進ができるような、新たな方向付けで、全体に情報化、あるいは、防災情報であったり、これから予想される地震もあるので、未加入の方に対する加入促進を広げていくようなことを提言の中に組み入れていただく。そういう方に対する加入促進、できるだけ加入率の高い情報化(CATV)の位置づけを是非ともお願いしたい。
- ・ 意見は当然であるが、情報が共有されておらず、書いてない発表されていない情報で進んでいたということが、今になってはじめて分かってきており、是正すべきところは是正すべきで、すでに終わったからといって隠してしまったり、マイナスになるかもしれないが、このような形で進んできたことは事実であり、このようなことは起こってはならない。確かに未加入の方に対してCATVに加入してもらうことも大切ではあるが、事実として、知らない情報の部分で、未加入の方が現実に資料のような数値で出ている。この会で発表しなくて記者も傍聴しているわけで、外部に発表される可能性がある。
- ・ ですから、提言書の中には、周知ができていなかった旨の記述は結構です。ですので、申し上げたいのは、現在未加入の方に対して加入促進を計るような姿勢で取り組んで欲しいというような内容の提言にまとめていただきたいということをお願いしただけである。
- ・ 提言書自体はそれでいいが、提言とは別にきっちりと情報開示して欲しいということを何回も求めています。11月1日発行の広報でこの情報が掲載されることをお願いします。
- ・ 過去の情報が十分に提供されていなかったとか、不備があったということが当然あるが、前向きの姿勢で取り上げていくということについては、ご了解いただきたいと思います。なお、関空の開港に伴う難視聴の解消のために今回提出の資料にもあるような取組みが行われてきたことについても、過去の経緯を十分に説明するとともに、(今後は)コミュニティ放送の視聴を通して、市民情報、さらには安全の確保や地域コミュニティの活性など市民の方に理解を求めていく。というような表現の方法をとる。
- ・ 静岡市の計画を少し読むと、『「情報」に関して行政が陥りやすい通弊は、セクショナリズムという「情報の偏在」、非開示という「情報の潜在」、そして熟練を後世に継ぐマニュアルの蓄積が無いという「情報の不在」として整理できる。これらは、情報開示や説明責任を尊ぶ社会思潮に反するも

のであり、行政内部の意識改革が求められている。情報化によって、事務の合理化と効率的かつ高度な地域経営を推進し、行政の柔軟性と機動力を高めなければならない。』とあり、静岡市の場合は今まで十分に情報開示してなかったことについて、反省しているわけであり、反省して新しいものを築いていこうとしている。やはり過去のことは過去のこととして反省してみて、それでも我々は情報開示していくんだという、それで新しい社会を作っていきたいという。そういう意識でないといけないと思う。

- ・ このまえから要望しているが、横の連携で、縦割りでなく横断的な組織を作り、情報化での役割は何かということを鮮明にし、市全体で取り組んでいくということにしなければ、いくら計画を作ったとしても実施できないといったことになる。大局的に取り組める体制が必要。
- ・ 20 ページのホームページ啓蒙事業で、市が取り組むことになれば教育という分野にもなるので、16 ページにあるパソコン教室の開設の中に入れておいて、ユニバーサルデザインについては市のホームページを対象とする。ホームページ作成講座の中に、ユニバーサルデザインという考え方も含める。
- ・ 提言書は委員のみなさまのご意見を提言していただければいいが、(市では)パソコンに慣れていない方が、親しみやすいような教室作りをしたいと考えている。
- ・ 16 ページ(2)については、個人が発信するホームページや地域の公民館で作るホームページの発展を望むということを追加。掲示板については削除したほうがよいのでは。地域に密着した、例えば冠婚葬祭の決まりについても市内でいろいろと違いがあるが、市のホームページのなかで掲載すれば、掲示板に載せて答えるという手順でなくてもかまわない。あくまで必要な情報にたどり着きやすいということが大切。運営主体は南あわじ市とする。
- ・ 20 ページ(5)については、市のホームページについては、地域のモデルとなるようなホームページになるようにと記述。啓蒙をはずす。
- ・ きっちりした情報を適切な形で情報発信できるよう計画を立てるという基本的な役割があり念頭においておく必要がある。
- ・ 22 ページについては、民間誘致、民間でのサービス提供を視野に入れて考えたが、均衡あるサービスの提供や既存設備の有効活用等を考えればFTTC 方式を、取らざるを得なかった旨の記述。FTTC の弱点をカバーする点は記載されているが、IT 機器が更に発展した場合に対する準備(情報量が大きくなった場合でも対応が可能)等の備えをしていることの記述。
- ・ 光ファイバの貸し線協議において複数の民間事業者の参入が可能となるような方針ですすめることを明記。(事務局)独占にはならないような形で検討を進める。
- ・ 均衡ある発展という観点からすれば、沼島地区でも格差のない情報化を目指すことを記述する。(13または22 ページで記述)
- ・ ケーブルテレビやブロードバンド、携帯電話、地域情報化計画では大きく取り上げられる項目であるが、市として選択した、主張した、というこ

とを示したものとなっている。スローガンを見ても、住民同士、住民と行政間でのつながり、計画においても住民の声を取り入れるといった意味でも、双方向のつながりであるスローガンを示している。

- ・ 今回の会議で検討された修正の項目について、次回の委員会ではきちんと提示できるよう、日程の関係もあるが、委員長が市やコンサルと協議しながら進めていくようにする。個別の問題で委員の意見を聞かなければならない場合はその都度、協力をしていただくことでよろしいか。（委員）異議無し。

（３） その他

次回（第５回）検討委員会開催予定
11月の第１週に開催ということで検討する。
提言書の最終案の確認を行う。

４．閉 会